

本市と藤沢市の人口増減要因の比較に関する資料

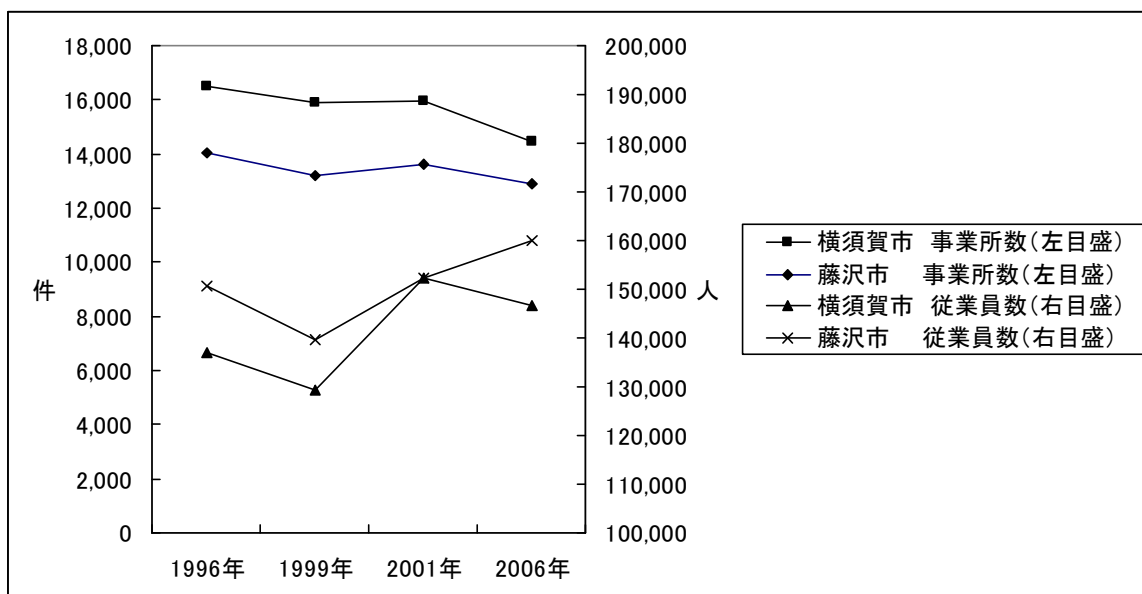
1. 人口動向の特徴

- ・藤沢市は、横須賀市と異なり、中期的に一貫して人口が増え続けている。
- ・近年の動向を見ると、藤沢市は、横須賀市と比較して自然増よりも社会増の方が大きくなっている。
- ・年齢別では10歳代後半をピークとして、40歳代ぐらいまでの幅広い年齢層で転入超過傾向が見られる。

2. 要因に関する考察

(1) 雇用規模の動向による影響

図表 1 藤沢市、横須賀市の事業所数、従業員数の動向

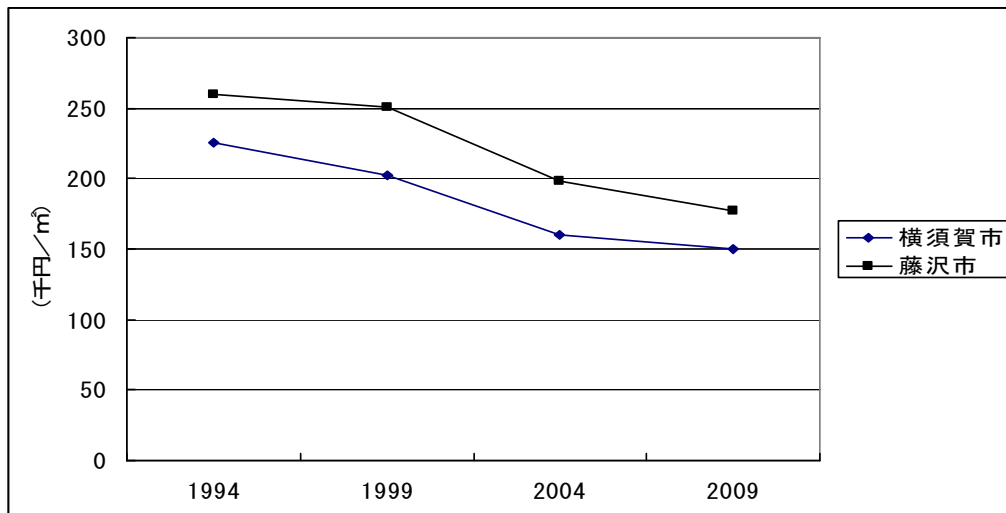


資料)事業所統計調査より作成

- ・藤沢市は、事業所数は概ね横須賀市と同様のペースで減少しているが、横須賀市と異なり、従業員数は、2001年、2006年と連続して増加している。
- ・こうした雇用の場の拡大が、近年の社会増を背景とした人口増加の一つの要因となっている可能性がある。

(2) 住宅地としての優位性から見た地価動向

図表 2 藤沢市、横須賀市の住宅地価の動向(1994年=100)



注: 市役所最寄駅から1,000~2,000mの住宅地の公示対象地点(横須賀市2地点、藤沢市4地点が該当)を抽出し、その平均値を算出した。

資料)国土交通省地価公示(土地総合情報システム)より作成

- ・横須賀市、藤沢市の住宅地価は、近年概ね同様のペースで下落している。
- ・このため、地価の動向と藤沢市の人口増加との関係性は明確にはいえない。

(3) 都心への交通利便性

図表 3 藤沢市、横須賀市の東京都心部主要駅へのアクセス所要時間

	品川駅	東京駅	新宿駅
横須賀市 (京浜急行線 横須賀中央駅)	約 45 分 (快特利用)	約 60 分 (快特利用、品川よりJR山 手線に乗り換え)	約 65 分 (快特利用、品川よりJR山 手線に乗り換え)
藤沢市 (JR・小田急線 藤沢駅)	約 42 分 (東海道線利用)	約 53 分 (東海道線利用)	約 50 分 (湘南新宿ライン利用) 約 56 分 (小田急線急行利用)

- ・藤沢市から品川駅、東京駅への所要時間については、数分程度の格差となっている。
- ・新宿駅への所要時間は、藤沢市から湘南新宿ラインの利用が可能であるため、約 15 分の格差がある。
- ・もうひとつの新宿駅へのアクセスである小田急線は、JRと比較すると藤沢駅起点で所要時間が6分程度長くなるものの、市内の駅数がJRの2駅に対して9駅であることから、藤沢駅以外を利用する市民にとっても都心への交通利便性は高い。
- ・このため、通勤通学などに際しての交通利便性が、藤沢市が中期的に人口増加を続けている一つの要因となっている可能性がある。